

水泳部の活動紹介

歯学科5年 成松花弥

「旭町水泳部が女子総合優勝！」このニュースを大学 Web サイトで御覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。一方では、実習などで先生に何部なの？ と訊かれて水泳部だと言うと「水泳部なんてあったの!?」「(全学の部活を想像して) 凄いね」と言われてしまうこともしばしば。今回、部活動紹介の貴重な機会を頂きましたので、水泳部のことを少しでも多くの方に知って頂けたらと思います。

●自己紹介

私たち歯学部水泳部は医学部水泳部と合同で「旭町水泳部」として活動しています。歯学部の水泳部が設立されたのは7年前のこと。現在の旭町水泳部の形になったのも最近ですが、今や部員数39名の大きな組織となっています。歯学部の部員は現在男子2名、女子9名です。初心者から大会記録保持者まで泳力も目標も様々な部員が、泳力ごとにコースに分かれて一緒に練習しています。また練習だけでなく、春は桜を愛で、夏は浜で夏を満喫、秋は紅葉と旬の味覚を堪能し、冬は雪原で汗を流すなど、陸での活動も盛んです。



柏崎でのGW合宿。3日間の練習を終えた達成感と開放感でみんな急に元気です

●女子総合優勝

旭町水泳部は6月5日に神奈川県横浜市で行われた東日本医歯薬看護学生水泳競技大会において、女子総合優勝を果たしました。この大会は、医学部と歯学部が合同で活動する我々にとって、全員で出場できる唯一の大会です。今年この大会で結果を残せたことには特別な思いがあります。実は、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により練習場所のひとつである市営プールも被害を受けて7月まで利用出来なくなってしまいました。40名近い大所帯ということもあり、日頃から苦労していた練習場所の確保。幹部の後輩たちの頑張りと様々な施設の方々のご厚意があってなんとか練習を続けることが出来ました。例年よりも厳しい練習環境でしたが、だからこそ一回一回の練習を大切にすることが強くなったのかもしれない。そんな状況で迎えた大会でした。白熱したレースを展開した女子200mフリーリレー、400mフリーリレー（医学部の卒業学年生3人と共に歯学部の3年井場が活躍しました）はともに大会新記録、多数の入賞者や自己ベスト更新と大変充実した大会となりました。数十秒、数分に全力を



医歯薬には遠路からOBの先生も応援に駆けつけてくださいました

懸けて泳ぐ選手、その一本のレースに皆が集中して声が枯れるほど応援する。チームが一つになっていることを感じる瞬間が沢山ありました。大会全体を見ても多くの大会新記録が出ました。我々以上に大変な状況のチームもあったと思います。そんな中、各大学が出来る限りを尽くしてやってきて同じ舞台で競い合えたことを思うと胸が熱くなりました。

●借り暮らしの旭町

私たちは自分たちの練習場所を持っていません。市営プールやスイミングスクール、赤塚、こ

の夏からは五十嵐キャンパスのプールもお借りして練習を行っています。場所を提供して下さる施設の方々、私たちの活動を支え、社会人としてまだまだ未熟な私たちを指導し、そしていつも応援して下さる OB・OG の先生方と顧問の林先生、医学部の西澤先生、学生生活を思う存分楽しむことを支えてくれる家族、多くの方の存在があって泳ぐことができます。この場をお借りして感謝申し上げます。旭町水泳部をこれからもよろしくお願いします。

